

愛知県

JA蒲郡市 担い手グループ

生産 販売

## スマート農業による栽培技術の高度化と 契約販売の拡大等で、所得31%アップ



JA蒲郡市（蒲郡市、豊川市の一部（旧宝飯郡御津町の一部））では、**生産拡大**に向けたスマート農業を**促進**するとともに、**販売拡大**に向けた荷受規格の拡幅や契約販売の拡大など生産者の立場に立ちさまざまな取り組みを実践しています。

その結果、担い手グループにおける1戸当たりの平均農業所得は、2019年度には470万円となり、2014年度に比べ**30.5%の増加を実現**しました。

### 【JAの具体的取り組みと成果】

**生産拡大**に向けては、主要品目のハウスみかんをはじめ、苺などの栽培において、**環境測定装置「めぐりログBOX」**や**農業経営支援システム**などのICT技術を活用したスマート農業を促進しました。

環境測定装置とは、ハウス内の温度・湿度・二酸化炭素濃度等の環境情報をPCやスマートフォンを用いて管理することで生産者の負担を減らし生産性を向上させるシステムで、JAでは、2018年度までは**1人1台の導入費用を全額助成**、2019年度からは導入台数に関係なく**本体等の30%を助成**しています。

ICT技術を活用したスマート農業で、高品質で効率的な栽培を実現した結果、苺の収穫量は2014年度は10aあたり4.7トンから、2019年度は10aあたり5.3トンへと拡大しました。

**販売拡大**に向けては、**荷受規格の拡幅（露地みかんや樹熟デコポンの規格外品など）**と、**実需者との契約販売の拡大**に取り組みました。

さらに、2017年度には営農部と販売部を統合し、営農販売部を新設。2018年には産直支援課を設置し、一貫した担い手の販売支援を行いました。

その結果、担い手グループの販売高は25億9,200万円から27億6,900万円へと増加しました。

これらの取り組みにより、2014年度から2019年度にかけて、担い手グループ1戸当たり**30.5%の所得増大を実現**しました。



(左から、みかんの選果と、苺生産者からの相談に答えるJA職員の様子)

